

事業計画書

記入例2
セルフオーダーシステム

申請者名 <small>（法人の名称又は個人事業主の代表者の氏名）</small>	□□ △△
事業の種類	<small>（事業の種類番号に○を付けてください。）</small> 1 働き方改革 2 非接触型サービスの導入 3 生産性の向上に係る取組
事業の内容	<p>(1) 申請者の現状と課題（デジタル化の背景（動機）） <small>（申請者の事業概要〈会社概要パンフの添付でも可〉、業界動向、課題等を記載）</small></p> <p style="color: red;">当社は客席10テーブルの飲食店を経営している。主な客層はファミリーや少人数のグループである。</p> <p style="color: red;">新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言以降、客席の間隔をあけるなど感染対策を講じてはいるが、注文は従来のように、従業員（接客スタッフ2名）が客席で聞き取りをしている状況である。</p> <p>(2) デジタル機器等の利活用の目的とその内容 <small>（どのような形でデジタル機器等の利活用を行うのか、できるだけ具体的に記載）</small></p> <p style="color: red;">レジと連携した注文システム（セルフオーダーシステム）を導入し、客席で従業員との接触機会、接触時間を軽減する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p style="color: red; font-size: small;">何をするために、どのようなデジタル機器を何台購入するか、どのようなシステムを導入するのかをできるだけ具体的に記載してください。特に、主となる機器、特殊な機器については、必ず記載してください。</p> </div>
事業の効果	<small>（本事業の展開計画や期待される効果など、可能ならば定量的な目標数値と併せて記載）</small> <p style="color: red;">従来は、客との接触が、注文時、食事提供時、会計時の最低3回あったが、システム導入後は、食事提供時のみとなり、感染リスクを6割以上軽減できると見込んでいる。</p>

- 備考 1 欄が足りない場合は、適宜欄を広げて記載してください。
 2 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。